

活 動 名	職員研修 これからの進路指導	報告者	進路指導部
日 時	平成 30 年 6 月 2 5 日 ( 月 ) 1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 4 5		
場 所	本校 会議室		
参加人数 ( 所属 )	全日制課程 全職員 ( 約 90 名 )		
目 的	大学入試改革の要点をおさえ、これからの進路指導において何が必要かを理解し、今後の指導に役立てる。		
講 師	畑林 大樹 氏 株式会社ベネッセコーポレーション 初等中等教育事業本部 高校営業部 大阪支社 兵庫県担当		
当日の次第	( 1 ) 開会のことば ( 2 ) キャリアノートの活用について ( 進路指導部長より ) ( 3 ) 講師の紹介 ( 進路指導部 ) ( 4 ) 講演・質疑応答 ( 5 ) 謝辞 ( 教頭 ) ( 6 ) 閉会のことば		
	<p>社会情勢の変化とともに教育のあり方も変化します。少子高齢社会、ICT・AI・IoT が浸透する高度情報化社会、グローバル社会とよばれる現代社会において求められる学力とは？ 教育改革で示されているのは次の 3 つの力です。</p> <p>「学びに向かう力」 「知識・技能」 「思考力・判断力・表現力」</p> <p>これまでは、「知識・技能」を確認する試験が中心でしたが、これからは、「主体的に学び続ける力」や「柔軟に対応し、多様な人と協働しながら、価値を生み出そうとする力」も試験の対象となります。具体的には、現高 1 生の受験年から始まる「大学入学共通テスト」で、記述式問題の導入や英語の民間検定の活用が行われます。推薦入試やAO入試においても、これまで以上に自身の考えや活動をまとめた報告書の提出が求められることが多くなるので、それに対応するための準備をしなければならないという内容でした。</p>		